

くるまで行く!

やまなみ・しまなみマップ

松江・尾道・今治・松山

中国やまなみ街道(尾道松江線)と、瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)で

山陰～四国がぐっと身近に!

しかも、やまなみ街道は通行料無料(一部有料区間を除く)。

さあ、気軽にドライブに出かけましょう!

みどころ 01 国宝松江城

江戸時代始めに建てられた天守閣を残した現存十二天守のひとつである国宝松江城。入母屋破風の羽が、まるで鳥が羽を広げたように見えることから「千鳥城」と呼ばれる壮麗な城だ。天守閣からは城下の町並みや宍道湖を一望できる。

〒690-0887 島根県松江市殿町1-5 TEL/0852-21-4030
全開時間/8:30～18:30(季節により変動)
定休日/無休 入城料/大人680円 小人290円
https://www.matsue-castle.jp/

ご利益 02 雨粒御伝

年間を通して雨が多い松江市。雨の日も観光客に楽しんで頂けるよう雨粒の形をした石像・雨粒御伝8体を松江城周辺に設置している。それぞれの石像には恋愛成就や金運などのご利益が秘められており、パワースポットとして人気。

松江～松山 約4時間

松江

- 松江玉造IC 15.7km(14分) 山陰自動車道
- 穴水IC 10.6km(10分) 松江自動車道
- 三刀屋木次IC 61km(53分) 尾道自動車道
- 三穴東JCT-IC 49.9km(43分) 山陰自動車道
- 尾道JCT 4.5km(3分) 国道2号線
- 福山IC 5km(6分) 西瀬戸自動車道
- 西瀬戸尾道IC 59.4km(60分)

尾道

- 今治IC 4km(8分) 今治バイパス
- 今治湯ノ浦IC 今治湯ノ浦IC 今治小松自動車道
- いよ小松JCT 3.4km(24分) 松山自動車道
- 松山IC

※所要時間は平日通常時の目安です。

ご利益 02 尾道七佛めぐり

尾道市内の7つの古寺を、各寺の御朱印やプレス念珠の石を集めながら訪ね歩くミニ巡礼。プレス念珠はパワーストーンを購入し、最後に自分で念珠に仕上げる。旅の記念にオススメ。尾道七佛めぐり事務局(千光寺) 広島県尾道市東土堂町15-1 TEL/0848-23-2310

絶景 03 白滝山

標高226.9m。因島を代表するビュースポット。参道や山頂付近に点在する五百羅漢の石仏は、1830年に一親教の創始者・柏原佐六とその弟子たちが3年余りの年月をかけて作った。夕日のスポットでもあり、黄金に輝く瀬戸内海をみることが出来る。

絶景 04 瀬戸田サンセットビーチ

生口島にあるビーチで、約800mに渡って広がる真っ白な砂浜が美しい。その名の通り、瀬戸内海に沈む夕日を眺めるのに最適。周辺は海浜スポーツ公園として整備されているのでマンススポーツも思いのまま。

05 道の駅 世羅

世羅産の新鮮な野菜、標高約400mの高地で育った味噌漬の米、世羅ブランドコーヒーなどショピングの楽しみがいっぱい。ご当地グルメのせらパーガもぜひ味わって! 広島県世羅郡世羅町川尻 2402-1 TEL/0847-22-4400

06 道の駅 クロスロード みつぎ

尾道名物や地元産の恵を使った加工品などの土産を販売。物産売店・レストラン・野菜市に加え、子ども図書館、バスターミナルなど、人と街が生き交う憩いの場。是非立ち寄りください。 広島県尾道市御調町大33 TEL/0848-76-3115

みどころ 01 道後温泉本館・道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

道後温泉本館
日本最古の温泉といわれる道後温泉。道後温泉本館は明治27年(1894)に営業。平成6年(1994)、日本の公衆浴場として初めて国の重要文化財に指定された。

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町5-6
TEL/089-921-5141(道後温泉事務所)
営業時間/6:00～23:00(浴室内より異なる)
定休日/無休(12月1日臨時休業あり)
入浴料/大人460円～ https://doga.jp/onsen/honkan

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉
2017年9月、第三の外湯として誕生した道後温泉別館 飛鳥乃湯泉は、皇室専用浴室の又新館を再現した特別浴室を設け、昔の浴衣「湯褌」を着て入浴体験できる(要予約)。詳しくはお問い合わせを。

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町19-22
TEL/089-921-1126(道後温泉センター)
営業時間/6:00～23:00(浴室内より異なる)
定休日/無休(12月1日臨時休業あり)
入浴料/大人610円～ https://doga.jp/onsen/asuka

みどころ 02 松山城

現存十二天守の中で江戸時代最後の完全な城郭建築である松山城。天守内部の見学も可能で、天守からは瀬戸内海や松山の街が一望できる。

〒790-0808 愛媛県松山市丸之内1
TEL/089-921-4873(松山城総合事務所)
営業時間/9:00～17:00(受付は営業終了30分前まで/12月第3水曜定休)
本丸広場5:00～21:00(無料)※天守・本丸広場ともに季節により変動
入城料/天守観覧 大人520円※本丸広場は無料
https://www.matsuyamajp.jp/

みどころ 03 今治城

伊予半島20万石を領した藤堂高虎が、瀬戸内に面した海岸に築いた大規模な平城の今治城。海水が引かれた巨大な堀や、城内の港として国内最大級の船入を備えた日本屈指の海城であった。日本三大水城のひとつでもある。

〒794-0036 愛媛県今治市通町3-1-3 TEL/0898-31-9233
営業時間/9:00～17:00(その他展示等など運営上必要な時)
休館日/12月29日～12月31日、その他展示等など運営上必要な時
入城料/一般520円 https://museum.city.imabari.ehime.jp/imabarijp/



松江

Matsue



シーズンイベント情報

●国宝松江城「お城まつり」(3月下旬～4月中旬)

さくら名所100選に選定されている松江城山公園で開催。ソメイヨシノを中心に約200本の桜が開花し、ぼんぼりのライトアップで夜桜が楽しめる。期間中の土・日の昼間には様々なステージイベントが行われ、天守閣のある本丸は21時まで開放される。

●松江武者行列 (4月上旬)

松江城を築城した堀尾吉晴公一行が松江城に入城する様子を絢爛豪華に表したものの。勇壮な武者や色鮮やかな姫などに扮した大勢の市民が参加、松江城を目指し、桜咲く松江市内を練り歩く。

●松江水郷祭 (8月第1土・日(予定))

宍道湖の美しい湖面を活かした「西日本最大級の湖上花火大会」、ステージイベントや飲食ブースを展開する「松江だんだんまつり」協賛イベントなど、多彩なイベントが目白押し。

●松江水燈路 (9月下旬～10月中旬)

松江城や塩見縄手周辺をライトアップする光のイベントで、夜の散策路が灯りにより美しく演出される。市民の手作りを含む多数の行灯がゆらめき、城下町ならではの光と影が織りなす景観を楽しむことができる。

●松江祭鑓行列 (10月第3日曜日)

鉄の車輪のついた屋根つき山車屋上に鑓(よう)と呼ばれる太鼓が、笛や和楽器の一つであるチャンガラの色音にあわせ十数台で行列し、松江の開府を祝う勇壮な色音が市中に響きわたるお祭り。

松江へのアクセス

●飛行機

東京(羽田)～出雲 約1時間30分
名古屋(小牧)～出雲 約1時間
大阪(伊丹)～出雲 約50分
福岡～出雲 約1時間15分 ■空港連絡バス(出雲～松江) 約30分
東京(羽田)～米子 約1時間20分 ■空港連絡バス(米子～松江) 約45分

●鉄道

東京～岡山 約3時間20分(新幹線)
名古屋～岡山 約1時間40分(新幹線)
新大阪～岡山 約45分(新幹線)
博多～岡山 約1時間45分(新幹線)
■岡山～松江 約2時間40分(JR特急やくも)



お問い合わせ先：松江商工会議所
TEL/0852-32-0504

Place 01

国宝松江城周辺散策(堀川めぐり・塩見縄手)

松江のシンボル国宝松江城とそれを囲む堀は、築城約400年の時を越え、城下町の風情を色濃く残す。約3.7kmの堀川を小舟に乗って巡る「堀川めぐり」は、大小の橋をくぐりながら「水の都」松江の水景を楽しむ。まちあるきでは、武家屋敷の残る「塩見縄手」が堀端の中で最も江戸時代の風情を感じられるスポット。



〒690-0876 島根県松江市黒田町507-1 TEL/0852-27-0417
営業時間/9:00～17:00(季節によって変動・約20分間隔で運航) 定休日/無休
乗船料/大人1,600円 <https://www.matsue-horikawameguri.jp/>

Place 02

明々庵

大名茶人として名高い松江七代藩主、松平不昧公によって建てられたという茶室。庭を臨む和室では、お抹茶と不昧公ゆかりの和菓子をいただくことができる。



〒690-0888 島根県松江市北堀町278
TEL/0852-21-9863
営業時間/4～9月 8:30～18:30 ※最終受付18:10 (抹茶時間 9:50～16:30 ※最終受付16:30)
10～3月 8:30～16:00 ※最終受付16:00 (抹茶時間 9:50～16:30 ※最終受付16:00)
定休日/年中無休 観覧料/大人410円(抹茶一服410円)
<http://www.meimeian.jp/admission/index.html>

Place 03

八雲塗 (絵付け体験)

大名茶人 松平不昧公が、金沢などから職人を呼び寄せ自分好みの漆器を作らせたのが松江の漆器づくりの始まり。後に松江藩お抱えの塗師が「八雲塗」を考案した。塗り重ねた透漆が年月を経るごとに透明度を増していき、下に描かれた模様が色鮮やかに浮かび上がるのが八雲塗最大の特徴である。明治創業の八雲塗の老舗「八雲塗 やま本」では、店内の製作工房で漆絵の絵付け体験ができる。フリーハンドでの絵付けではなく、転写された輪郭の中を色塗で埋めていくので、大人の塗り絵感覚で楽しめてみる。

〒690-0843 島根県松江市末次本町45 TEL/852-23-2525
営業時間/10:00～19:00 漆絵絵付け体験(日・祝除く)13:00～15:00 定休日/1月1日～3日
体験料/漆絵絵付け体験(2時間まで) 指導料:1,100円/人(その他、器代実費)
※希望日の2日前までの受付※絵付け後に乾燥の必要があるため、作品は後日送付。
<https://www.yakumonuri.jp/>



Place 04

宍道湖クルーズ 宍道湖観光遊覧船「はくちょう」



城下町の美しい風景を湖上から眺めることができるクルージング。大橋川から宍道湖に入り、爽快な水辺の風を浴びながら約1時間かけて宍道湖の各ポイントを周遊。日本の夕日百選に数えられる松江の自然遺産「宍道湖の夕日」を眺める「サンセットクルージング」は、ロマンチックな時間が過ごせ、とても人気。

〒690-0001 島根県松江市東朝日町150-7 TEL/0852-24-3218
出航時刻/季節によって変動(HP掲載) 定休日/元旦のみ
乗船料/大人1,800円 <https://hakuchougo.jp/>

Gourmet

出雲そば



出雲そばは、穀のついた玄蕎麦を製粉しているのが特徴。ちょっぴり黒みを帯びた艶やかなそばは、香りも風味も豊か。定番の割りスタイルや釜揚げなどいくつか。提供店は市内に多数あり、それぞれが味を競い合っている。



Gourmet

お抹茶・お菓子

松江は京都、金沢と並び日本三大菓子、茶処として知られている。松江市は市民の間に茶の湯の文化が根付いており、日本茶のブレンド技術の高さは全国随一。また挽きたてのお茶によく合う和菓子を製造する老舗菓子店舗も多数。「不昧公好み」として今も受け継がれる松江の銘菓や四季の移ろいを表現する創作和菓子をお茶とともに味わって。



Gourmet

松江おでん

松江おでんは、飛魚(あご)だしのおでんの中にうどんを入れたご当地グルメ。コクのあるだしと、もっちりとしたうどんの相性は抜群で、老若男女に好まれる美味しさだ。市内数ヶ所の店舗で提供しており、それぞれの食べ比べも楽しい。
<https://www.chiiki30.jp/>



尾道

Onomichi



Place 01

尾道の渡船

尾道市と対岸の向島までの距離は、海を挟んでわずか300mほど。この狭い海峡は尾道水道と呼ばれており、2社が運営する渡船がせわしく行き交っている。住民や観光客の足として重宝されている渡船の乗船時間は片道わずか5分。船の上から見る尾道市街や向島の姿はレトロでフォトジェニックだ。

おのみち渡し船TEL/0848-38-7761 福本渡船 TEL/0848-44-2711
営業時間/6:06~22:10(各社異なる) 定休日/無休(おのみち渡し船)
・日曜日(福本渡船) 乗船料/大人60円~(各社異なる)
<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/32/>



Place 02

島ごと美術館

生口島では1980年に世界一小さなアートプロジェクト「瀬戸田ビエンナーレ」を開催した。その際に島内に設置されたアート作品17点を残しており、自由に鑑賞することができる。海の中に設置された作品など、展示方法もユニーク。作品を探しながら島歩きを楽しんで。



広島県尾道市瀬戸田町一帯 TEL/0845-27-0051(瀬戸田観光案内所)
<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/44/2787.html>

Place 03

因島水軍城



村上海賊の至宝や遺跡からの出土品をはじめとした数多くの関連資料を展示する城郭型資料館の因島水軍城。2016年4月、今治市・尾道市にまたがる村上海賊のストーリーが「日本遺産」に認定された。

〒722-2211 広島県尾道市因島中庄町3228-2 TEL/0845-24-0936
営業時間/9:30~17:00(ただし、1月2日、3日は10:00~15:00)
休館日/木曜(祝日を除く)、12月29日~1月1日
観覧料/《一般》:大人 330円、小人(小・中学生)160円
《団体割引》:(30人以上)大人 220円、小人 110円
<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/38/1042.html>

Place 05

千光寺ロープウェイ



弘法大師が開いたとされる千光寺は、尾道市のシンボリック存在。寺の周辺は千光寺公園として整備されており、眺望や散歩を楽しめるスポットとして人気。麓から山頂まではロープウェイが整備されているので、快適にアクセスができる。山頂からは尾道水道や市街が一望のもとに。

〒722-0033 広島県尾道市東土堂町20-1(山頂駅) TEL/0848-22-4900
営業時間/9:00~17:15(15分ごとに運行) 定休日/無休(但しメンテナンス期間あり)
乗車料/大人片道500円、小児250円、大人往復700円、小児350円
<https://mt-senkeji-rw.jp/>



Gourmet

尾道ラーメン



イリコや鶏ガラでだしをとり、まるやかな醤油で味付けをした尾道ラーメン。青ネギやチャーシュー、メンマなどの定番のトッピングに加えて、コクのある豚の背脂を加えるのも特徴となっている。ご当地ラーメンとして全国的な人気。



Souvenir

レモンケーキ



レモンの生産量日本一の生口島。フレッシュな果実やスイーツなど、レモン商品はお土産にもぴったり。中でもレモン風味のパターケーキにチョココーティングをしたレモンケーキは、各店が工夫を凝らした品が手にはいる。レモンの形もとってもキュート!

シーズンイベント情報

●尾道みなと祭(4月下旬)

昭和初期に生まれた祭り。現在では創作踊り「ええじゃんSANS・がり」を中心とした尾道を代表する催し。

●因島水軍まつり(6月下旬~8月下旬)

南北朝時代から室町・戦国時代にかけて因島を拠点に活躍した村上水軍を再現する因島地域の人が総出で盛り上げるまつりで、島まつり、火まつり、海まつりの3部構成となっている。

●おのみち住吉花火まつり(7月下旬)

江戸中期から始まったもので、西の両国花火とさ言われた華やかな花火まつり。

●仮装&コスプレおのみちフェスタ(9月下旬or10月上旬)

アニメや映画などでおなじみのあのキャラクターに扮した参加者たちが尾道の商店街をパレードする賑やかなイベント。

●尾道灯りまつり(10月中旬)

尾道繁栄の礎を現代に再現し、ほのかに灯るぼんぼりを通して“癒しのまち尾道”のぬくもりを体感するお祭り。

●尾道ベッチャー祭り(11月1~3日)

文化4年(1807)に尾道市内で流行した疫病の平癒祈願のために行われた祈禱に由来するお祭り。

尾道へのアクセス

●飛行機

東京(羽田)~広島 約1時間25分

■広島~尾道 約55分(おのみちバス)

●鉄道

東京~福山 約3時間40分(新幹線のぞみ)

名古屋~福山 約2時間(新幹線のぞみ)

京都~福山 約1時間20分(新幹線のぞみ)

新大阪~福山 約1時間10分(新幹線のぞみ・さくら・みずほ)

■福山~尾道 約20分(JR山陽本線)

博多~広島 約1時間10分(新幹線のぞみ・さくら)

■広島~三原 約30分(新幹線こだま)

■三原~尾道 約12分(JR山陽本線)

お問い合わせ先: 尾道商工会議所
TEL/0848-22-2165

今治

Imabari



Place 01

しまなみ海道サイクリング

瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)に沿って走る自転車道を爽快サイクリング。島々でおいしいものや島の人との出会いも自転車旅の醍醐味！サンライズ糸山をはじめ、各島にレンタサイクルターミナルあり。

TEL/0898-41-3196(今治市サイクリングターミナル サンライズ糸山)
営業時間/8:00~18:00(3月~11月は8:00~20:00) 定休日/無休
レンタサイクル料金/大人1日3,000円~ <https://www.sunrise-ityama.jp/>

Place 02

コンテックスタオルガーデン今治

1950年に建てられたタオル工場をリノベーションした、タオル雑貨のファクトリーショップ&カフェ。レンガ造りの建物の内部には、オリジナリティ溢れる個性豊かな今治タオルをディスプレイ。予約制で工場見学も可能。

〒794-0083 愛媛県今治市宅間甲854-1
TEL/0898-23-3933 営業時間/10:00~17:45
定休日/月曜(祝日の場合翌日)
<https://kontex.co.jp/>



Place 03

進水式見学会(しまなみ造船)



日本最大の海事都市であり、造船王国としても有名な今治。伯方島にある「しまなみ造船」の進水式見学会では、華やかに海へ進水する新造船の様子を間近に見ることができる。

〒794-2303 愛媛県今治市伯方町伊方甲2321
TEL/0897-72-1121
<https://shimanami-shipyard.co.jp/>



Place 04

伊予桜井漆器会館

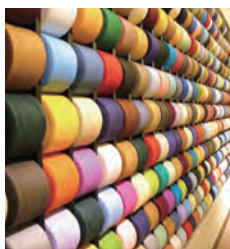


愛媛の伝統工芸・桜井漆器。館内では、椀や箸、小鉢、盆など桜井漆器の作品を幅広く展示販売するほか、製作工程の見学もできる。江戸時代より伝わる熟練の技に触れ、お気に入りの一品に出会いたい。

〒799-1527 愛媛県今治市長沢町340-1 TEL/0898-48-0418
営業時間/10:00~18:00 定休日/火曜(祝日の場合翌日)
<http://www.sakuraishikki.com/index2.html>

Place 05

タオル美術館



世界的に珍しいタオルアートを展示するミュージアム。タオルでつくられたアート作品のほか、タオルの製造工程の見学もできる。花と緑溢れるヨーロッパンガーデンでは可愛らしいムーミンの仲間たちがお出迎え。



〒799-1607 愛媛県今治市朝倉上甲2930 TEL/0898-56-1515
営業時間/9:30~18:00(ギャラリー見学は閉館30分前まで)
定休日/無休(1月休館日あり)
入館料/大人800円、中学生600円、小学生400円 <https://www.towelmuseum.com/>

Place 06

潮流体験



かつて日本最大の海賊と呼ばれた海賊衆、能島村上氏の本拠地である宮窪瀬戸の潮流を船上から体験。国指定史跡の能島や、最大10ノット(時速約18km)にもなる潮流の大迫力…。村上海賊の歴史ロマンを堪能できる。

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町宮窪1293-2 村上海賊ミュージアム前
TEL/0897-86-3323(能島水軍)
営業時間/9:00~16:00(1時間毎に随時運航、最終受付16:00)
定休日/月曜(祝日の場合翌日) 料金/一般1,500円、小学生700円、小学生未満無料
<http://www.noshima.jp/choryu>

シーズンイベント情報

●今治タオルフェア(5月・10月)

日本最大のタオル産地今治で春と秋2回開催。今治産地のメーカーによる展示即売会や新商品発表展示・小中学生タオルデザイン展・織物体験コーナーあり。

●今治市民のまつり「おんまく」(8月)

踊り、郷土芸能、花火の3本柱を中心に開催される。中四国最大級の花火大会には、毎年20万人を超える人出がある。

●地場産品セレクトマーケット(10月)

タオルをはじめとした地域の特産品が集結し、タオルなどは特別価格で販売される。大抽選会や親子で楽しめる体験教室の他、各地区から選りすぐりの地場産品もある。

今治へのアクセス

●飛行機

東京(羽田)~松山 約1時間20分
名古屋(中部)~松山 約1時間
大阪(伊丹)~松山 約50分
福岡~松山 約45分
■松山~今治 約1時間10分(車)

●鉄道

東京~岡山 約3時間20分(新幹線のぞみ)
名古屋~岡山 約1時間40分(新幹線のぞみ)
大阪~岡山 約45分(新幹線のぞみ)
博多~岡山 約1時間45分(新幹線のぞみ・さくら)
■岡山~今治 約2時間10分(JR特急しおかぜ)

●フェリー

大阪(大阪南港)~東予港 約8時間
■東予港~今治 約1時間(接続バス)



Gourmet

今治鉄板焼鳥



今治鉄板焼鳥は、その名の通り、鉄板に鶏肉や鶏皮を並べ、プレスと呼ばれる道具で押し付けながら焼くスタイル。甘いタレが食欲をそそる一品だ。

Gourmet

今治焼豚玉子飯



焼豚と目玉焼きをご飯にのせたシンプルな丼は、老舗中華料理店のまかないから生まれたという今治のご当地グルメ。焼豚を煮込んだタレでご飯が進む！

今治焼豚玉子飯世界普及委員会
TEL/0898-24-2020
<https://i-ytm.com>

松山

Mat suryama



シーズンイベント情報

●松山城「お城のお正月」(1月1〜3日)
獅子舞の披露や豚汁の無料配布、伝統的行事など様々な催しを実施。

●椿まつり(1月下旬〜2月下旬)
※旧暦の1月7・8・9の三日間
「椿神社」「お椿さん」の名で親しまれ、縁起開運・商売繁昌の神様として有名な神社。毎年全国各地から約50万人の参拝者が訪れ賑わう。

●松山春まつり(4月初旬)
「お城まつり」と「道後温泉まつり」の総称で松山の春最大のまつり。「お城まつり」では、桜の咲き誇る松山城や市内中心部を舞台に公募市民が扮した殿様、お姫様、大名、武者などが勇壮・絢爛にねり歩く。

●松山野球拳おどり(8月初旬〜中旬)
昭和41年に始まった松山の夏を代表するまつり。松山発祥の「野球拳」より派生した野球拳おどりで盛り上がる。

●松山秋祭り(10月7日)
「もてこい、もてこい」の掛け声とともに、荒々しくみこし同士をぶつけ合う「鉢合わせ」のさまは壮観。

松山へのアクセス

●飛行機

東京(羽田)〜松山 約1時間20分
名古屋(中部)〜松山 約1時間
大阪(伊丹)〜松山 約50分
福岡〜松山 約50分

●鉄道

東京〜岡山 約3時間20分(新幹線のぞみ)
名古屋〜岡山 約1時間40分(新幹線のぞみ)
大阪〜岡山 約45分(新幹線のぞみ)
博多〜岡山 約1時間45分(新幹線のぞみ・さくら)
■岡山〜松山 約2時間50分(JR特急しおかぜ)

●フェリー

広島〜松山観光港 約1時間10分(高速船)
小倉〜松山観光港 約7時間5分(松山・小倉フェリー)

お問い合わせ先: 松山商工会議所
TEL/089-941-4111

Place 01

道後温泉本館・道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

日本最古の温泉といわれる道後温泉。明治27年(1894)に改築された「道後温泉本館」は、木造三層楼の建物に神の湯、霊の湯という2つの浴室と休憩室、さらに皇室専用の又新殿(見学可)を備えている。平成6年(1994)、日本の公衆浴場として初めて国の重要文化財に指定された。2017年9月、愛媛の伝統工芸で演出する「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」が第三の外湯として誕生。

Place 02

子規記念博物館

松山出身の俳人・正岡子規の世界を通して、松山や文学について幅広く紹介した文学系博物館。常設展示室には子規と夏目漱石が共に過ごした愚陀佛庵を展示。(復元)



句碑めぐり

多くの俳人を輩出した俳都・松山。市内には彼らの句碑が点在しているので訪ね歩きたい。

〒790-0857 愛媛県松山市道後公園1-30 TEL/089-931-5566
営業時間/9:00〜17:00(5月〜10月は〜18:00)※入館は各30分前まで 定休日/シーズンにより変動
入館料/大人400円(特別展観覧料は別途)、高校生以下無料 <https://shiki-museum.com>

Place 03

坊っちゃん列車



明治21年(1888年)から67年間にわたり活躍した伊予鉄道の蒸気機関車がモデル。「坊っちゃん列車」という愛称は、夏目漱石の小説『坊っちゃん』に由来する。伊予鉄道は、地方では初の民間鉄道として開業し、後に全国各地で作られる軽便鉄道の先駆けとなった。

「坊っちゃん列車ミュージアム」では、伊予鉄道の歴史、変遷を感じる展示物のほか、1号機関車の原寸大レプリカを展示。鉄道ファン垂涎のレアな車輛部品・資料等も見もの。ミュージアムの近くには、伊予鉄道の創業者であり地域経済の発展のため様々な事業を興した革新的な経営者である小林信近の銅像・顕彰碑が建立されているのでお立ち寄りを。ディーゼルエンジン採用の新生「坊っちゃん列車」に乗って、松山市駅〜道後温泉を移動するのもおすすめ。



坊っちゃん列車ミュージアム

〒790-0012 愛媛県松山市湊町4-4-1 TEL/089-948-3290
開館時間/7:00〜21:00 定休日/無休
<https://www.iyotetsu.co.jp/museum/>



Place 04

坊っちゃん劇場



日本で唯一、自主制作のミュージカル作品を1年間上演する常設劇場。四国や瀬戸内圏の歴史や文化、偉人を題材にしたミュージカルを上演しており、大人から子供まで楽しむことができる。出演者は、東京の舞台で活躍している役者を、毎年オーディションで選んでいて、地方で本格的な舞台を観劇することができる。

〒791-0211 愛媛県東温市見奈良1125 電話/089-955-1174 FAX/089-955-5830
観劇料金/(当日)一般4,500円、高校生3,200円、中学生以下2,700円
(前売)一般4,200円、高校生2,900円、中学生以下2,400円
<https://www.botchan.co.jp/index.php>

Place 05

砥部町陶芸創作館



国の伝統的工芸品である砥部焼の手づくり体験ができる施設。呉須(ごす)と呼ばれる顔料で濃淡をつけて描く絵付け体験をはじめ、土から器などをつくる手びねり、電動ロクロを扱うロクロ体験もできるので、旅の記念にチャレンジしたい。

〒791-2133 愛媛県伊予郡砥部町五本松82
TEL/089-962-6145 営業時間/9:00〜17:00(入館は〜16:00)
定休日/木曜(祝日の場合翌日)、12/29〜1/3
体験料/絵付け体験300円〜、手びねり体験・ロクロ体験1,500円〜(要予約)



Gourmet

鯛めし



松山の鯛めしは、鯛を炊き込むスタイル。瀬戸内海で獲れた新鮮な鯛の旨みがお米の一粒一粒に染み込んだ炊きたては格別の美味しさ。

Souvenir

タルト・坊っちゃん団子



江戸時代、松山藩主により伝えられたというタルトは、カステラ生地で餡を巻き込んだ郷土菓子。夏目漱石ゆかりの小説『坊っちゃん』にも登場した坊っちゃん団子。